

課題意識

- 過疎地域等をはじめとする地方圏では、著しい人口の高齢化、低密度化に伴い、生活支援サービス需要が増加する一方、地域づくりの担い手不足という課題に直面している。
- 一方で、ライフスタイルや働き方の多様化が進み、多くの若者が従来の都市志向から地方志向になり、人の役に立ちたいというソーシャルな価値を重視するトレンドが生まれており、地域によっては若者を中心に「田園回帰」が起こり、変化を生み出す人材が地域に入り始めている。
- 「ふるさと」との関わりを深めようとする人々の新しい動きにも着目し、「ふるさと」への想いを地域づくりに生かすための新たな移住・交流施策のあり方について議論。

移住・交流、「ふるさと」との関わり推進

- 国土の保全等、国民全体の生活を支える極めて重要な公益的機能を有している農山漁村の価値や役割を、国民全体が適切に認識・評価し、農山漁村を支えていくことが求められている。
- 地域づくりの主たる担い手は地域住民であるが、地域外の人材等もその担い手として重要な役割を果たしうる。
- 地域に関わる多様な人材を地域づくりに生かすためには、地域と地域外の人材等との相互理解と協働が重要。
- 地域にルーツを持つ「近居の者」や「遠居の者」のほか、過去に勤務や居住、滞在の経験等を持つ「何らかの関わりがある者」や、地域と行き来するいわば「風の人」等、人々と「ふるさと」との関わり方は多様化している。また、「ふるさと」への想いを行動に移し、資金や知恵、労力を積極的に提供する取組も生まれている。
- 長期的な「定住人口」や短期的な「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目し、「ふるさと」に想いを寄せる地域外の人材との継続的かつ複層的なネットワークを形成することにより、このような人材と「ふるさと」との関わりを深め、地域内外の連携によって自立的で継続的な地域づくりを実現することが重要。

今後の方向性

1 段階的な移住・交流を支援する（図1）

- 都市住民の将来の地方への移住願望を実現する観点から、中長期的な視点で、段階的な移住・定住を希望する者の想いを受け止め、段階的なニーズに対応した地域との多様な交流の機会を創出することが有効。
- 移住希望者が移住に向けた階段を一步一步登ることができるよう、ライフステージに応じた多様な交流の入り口を用意し、階段の一段一段を低く感じることができるような施策を充実させるべき。

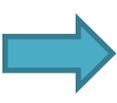
（例）小学校から大学までの学生による農山漁村等における豊かな体験、
クォーター制導入を機に地域の暮らしの経験や地域滞在型インターンシップの機会提供 等

2 「ふるさと」への想いを受け止める（図2～図4）

- 「関係人口」を地域づくりに貢献する存在として認識し、必ずしも「移住」という形でなくとも、国民の一人一人が積極的に関心を持ち、想いを寄せる地域である「ふるさと」に対する想い、貢献しようとする人々の動きを積極的に受け止め、人々と「ふるさと」とのより深い関わりを継続的に築く新たな仕組みを具体的に検討することが必要。
- 新たな仕組みによって、国民全体で支えていべき農山漁村等の「ふるさと」の役割（公益的機能）を再認識するとともに、「ふるさと」の地域づくりの担い手として、現に様々な関わりを持つ地域外の者（「近居の者」や「風の人」等）の役割を再評価し、また、「遠居の者」や「何らかの関わりがある者」等による「ふるさと」との関わりを新たに引き出すことも期待できる。
- さらに、新しいライフスタイルや働き方により生じている都市と農山漁村における人的な交流を加速させ、都市と農山漁村における新しい共生の形を後押しすべき。

3 地域における環境を整える（図5）

- これからの移住・交流、「ふるさと」との関わりを深める取組を展開していくためには、「関係人口」と地域をつなぐ仕組みを整えるため、地域の中においてコーディネート機能・プロデュース機能を発揮できる自立した中間支援機能が不可欠であり、その中心的な役割を担う人材の育成に対する支援についても併せて検討する必要。

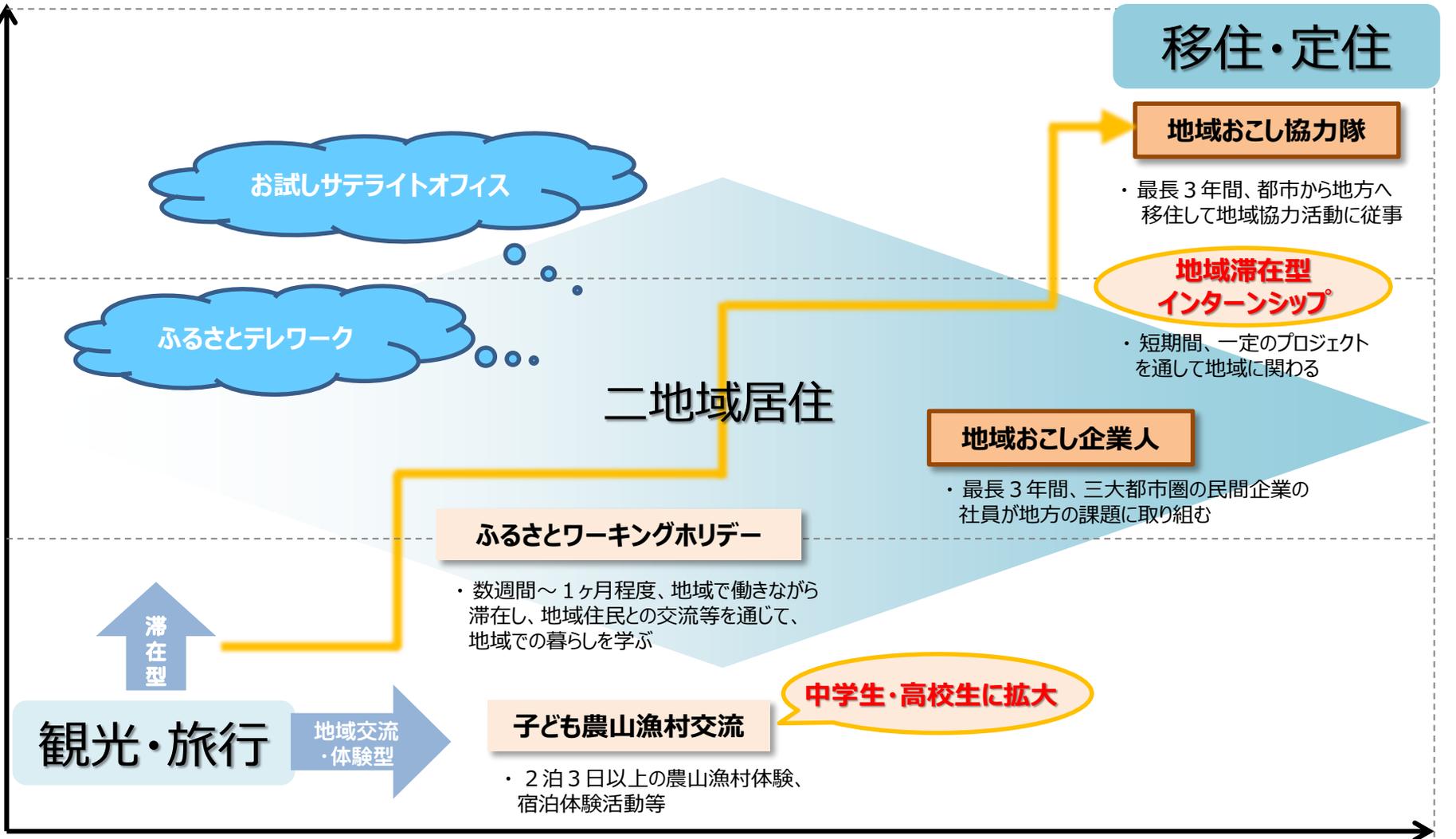


「ふるさと」への想いを受け止める新たな仕組みの具体的なあり方をはじめ、施策の具体案については、当検討会において引き続き議論。

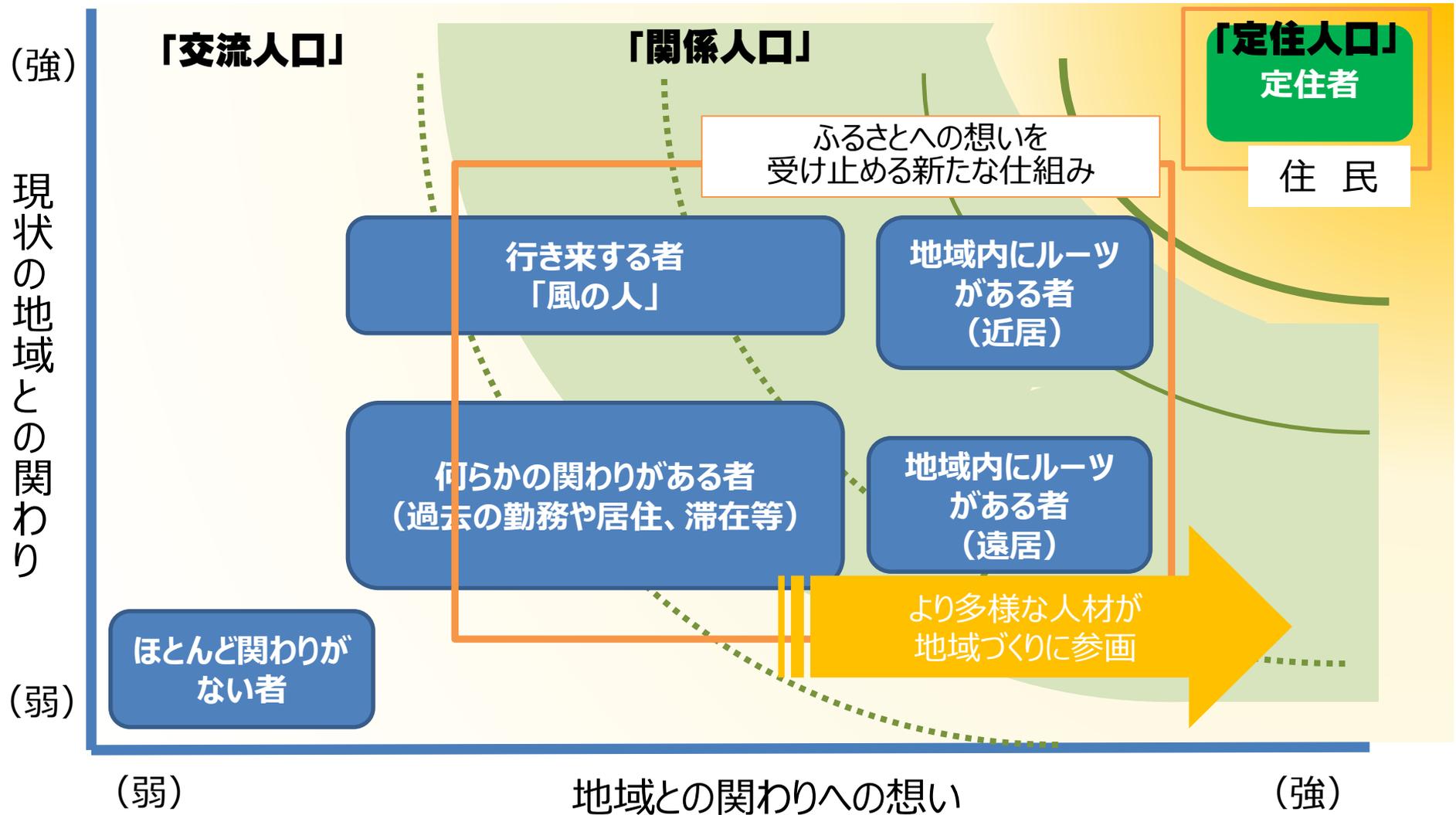
段階的な移住・交流の支援

図 1

定着性



地域とのつながり・関わり



農山漁村等の「ふるさと」の地域づくり

(地域と地域の暮らしを支える取組)

- ◆ 日常生活機能、地域コミュニティ機能の維持・確保
- ◆ 地域ならではの新しいビジネス・働き方の創出

<地域住民>

- 安全・安心な食料、水の供給
- 国土保全
- 都市住民を含む国民が新しいライフスタイルを実現する場
- 多様で風格ある国づくりへの寄与

